広報

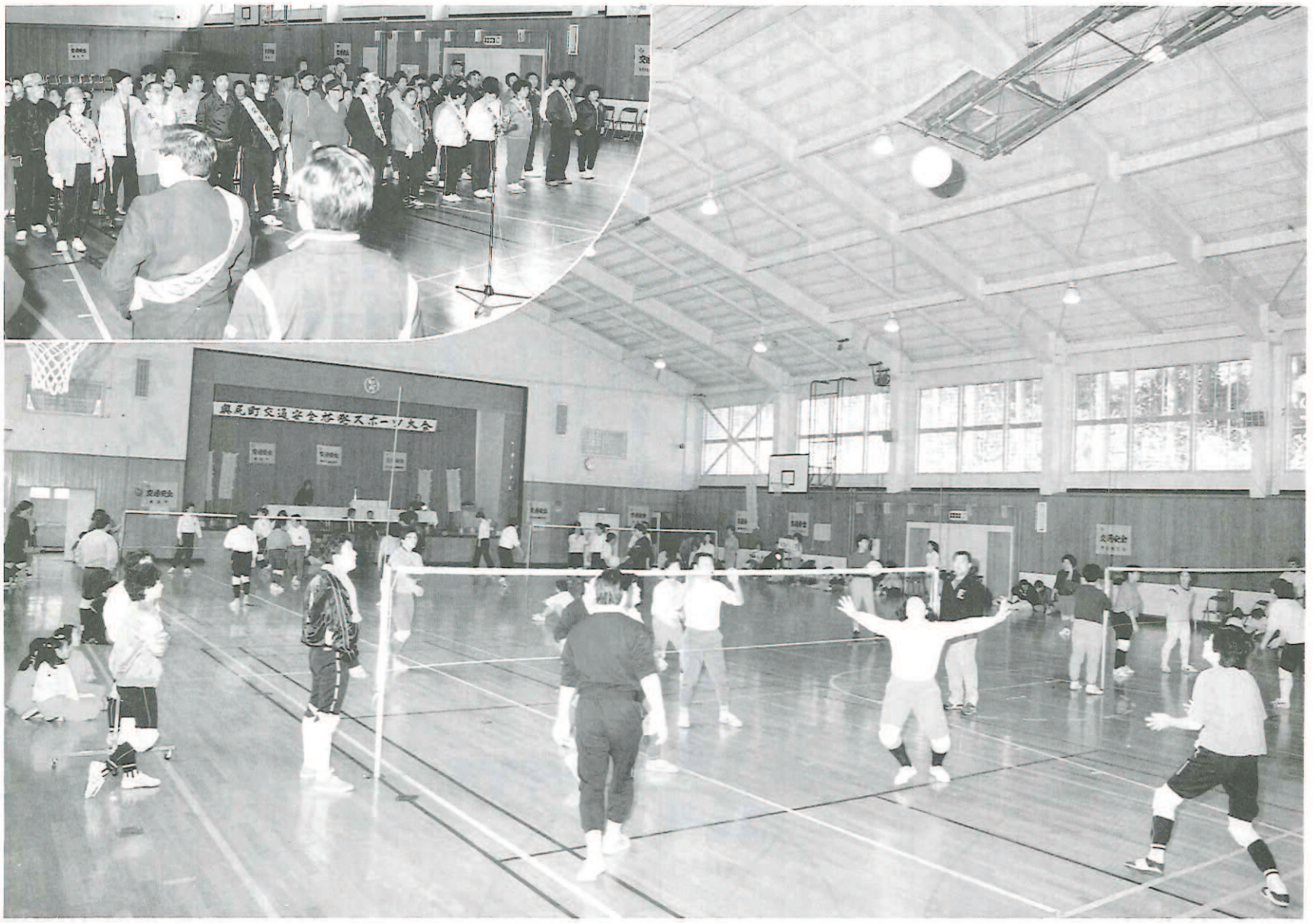
おくりん

奥尻町民憲章（昭和53年７月15日制定）

わたくしたちは、緑ゆたかな神威の山と、幸多い日本海を友として清くたくましく育まれた奥尻の町民です。

風雪に耐えて秘境をひらいた先人の偉業をたたえ、恵まれた自然と郷土を愛し、みんなの力と創意をはたらかせ、誇りと責任をもち、希望にみちた住みよい町づくりに努めます。

1.自然を生かし　環境をととのえ　美しい町にしましょう
1.力をあわせ　生産の工夫につとめ　豊かな町にしましょう
1.きまりを守り　心とからだをきたえ　明るい町にしましょう
1.たがいに学び　教養を高め　みのりある町にしましょう
1.郷土を愛し　未来をひらく若い力を育て　伸びゆく町にしましょう



スポーツを通して交通安全運動

奥尻町交通安全協会（須田順光会長・会員837名）では、交通安全意識の向上と交通秩序や安全教育の認識を深めてもらおうと、12月３日奥尻町民センターにおいて、交通安全啓発スポーツ大会を開催しました。

大会には、会員など300人が参加し、ゲートボールとミニバレーボールが行われましたが、参加者はお互いにスポーツを通して交通安全運動を進め、奥尻町からは、悲惨な交通事故を絶対になくしようと誓い合いました。

北海道では、交通事故による死者が近年にない異常なペースで増加し、非常に残念な結果となっています。

これから年末年始にかけて、交通事故の多発期に入りますので、今いちど安全確認に心がけましょう。

平成元年
12月号
No.263

今月のカレンダー

9日(土)　障害者の日（身体障害者福祉週間～15日）
11日(月)　幼児歯科検診（フッソ塗布）北部地区
〃　航空機運休日（～13日）
12日(火)　成人病予防教室（～13日）
14日(木)　３歳児検診
〃　定例町議会
15日(金)　成人病予防教室
16日(土)　奥尻町区会連合会総会及び町政懇談会（町民センター）
18日(月)　温泉保養所定休日
19日(火)　１歳６ヶ月児検診・乳児相談（～20日）
20日(水)　土地改良区総会
21日(木)　巡回職業相談（公民館）～午前中
22日(金)　社会福祉協議会役員会（公民館）
冬至
23日(土)　天皇誕生日
〃
25日(月)　クリスマス
28日(木)　複式教育研究会（稲穂小）
官庁ご用納め
〃
30日(土)　役場ご用納め
31日(日)　大みそか
※町内行事の日程は、変更になる場合もありますので、御了承下さい。

町有バスは住民の大切な足なんです

町有バスが青苗線と稲穂線の運行を始めてから今年で16年を迎えました。

町民の大切な足として、通学、通院、買物、諸用など、毎日の生活に欠かすことのできないものとなっています。

しかし、近年の自家用車の普及と過疎化の波は、利用客の減少に拍車をかける傾向にあるなど、いくつかの問題も抱えています。

今月号では、この町有バスにスポットをあて皆さんとともに考えてみましょう。

現在、町有バスが運行している青苗線と稲穂線の路線バスは昭和48年3月まで、東日本海フェリー株式会社が経営に当り、住民の足として運行されてきました。

しかし、自家用車の増加や過疎化の進行によって不採算路線となり長年親しんできたこの路線バスが廃止されることになったのです。

町では、地区住民の生活に及ぼす影響や通院、通学の足を守るため同年4月から、町有バスとして走らせ、現在に至っているのです。

現在、青苗線9便、稲穂線5便の合わせて1日14便（スクール便も含む）が運行され、今では、住民の通院・通学や買物、又観光客の足として、毎日の生活にとって欠かすことのできないものとなっています。

●運行には多額の繰入金と補助金

町有バスには、民間の路線バスが不採算路線となって廃止したその後を、引続いて運行しているため、いろいろな問題を抱えながら走っています。

利用客の減少傾向や運行に伴う赤字などです。

そのために、国・道からの補助金や一般会計からの繰入金を受けたりしています。

利用者からの料金収入だけではバスの運行はできないのが実情なのです。

昭和63年度の町有バス会計の収入と支出の状況（別図）をみてみますと、収入は9千9百63万7千円で、支出は9千9百62万8千円と実質収支では黒字となっています。

しかし、収入について内訳をみると、利用者が負担する使用料収入は3千8百82万9千円で、収入全体の39%にしかすぎません。他の収入は、国・道からの補助金9百42万円（9%）、一般会計からの繰入金5千59万円（50%）、その他79万8千円（2%）、となっています。

このことから、収入の多くを、町の一般会計からの繰入金と、国・道の補助金で賄っていることがわかると思います。

●みんなで利用したい町有バス

次に過去5年間の乗車人員の推移（別図）をみてみましょう。

表のように乗車人員（通学者も含む）は横ばいの状態となっていますが5ケ年間の推移をみますとやや減少傾向がうかがわれます。

昭和63年度でみてみますと、年間乗車人員は、延べ20万4千4百7人で、1日当りに換算すると5百60人となり、これをすべて往復乗車したと考えた場合、実質的には1日2百80人で、通学者が利用していることも考えると一般利用客の少ないことがわかります。

現在、一家に一台は自家用車があるといわれる時代で、町村になるほど自家用車への依存度が高い傾向にあるようです。

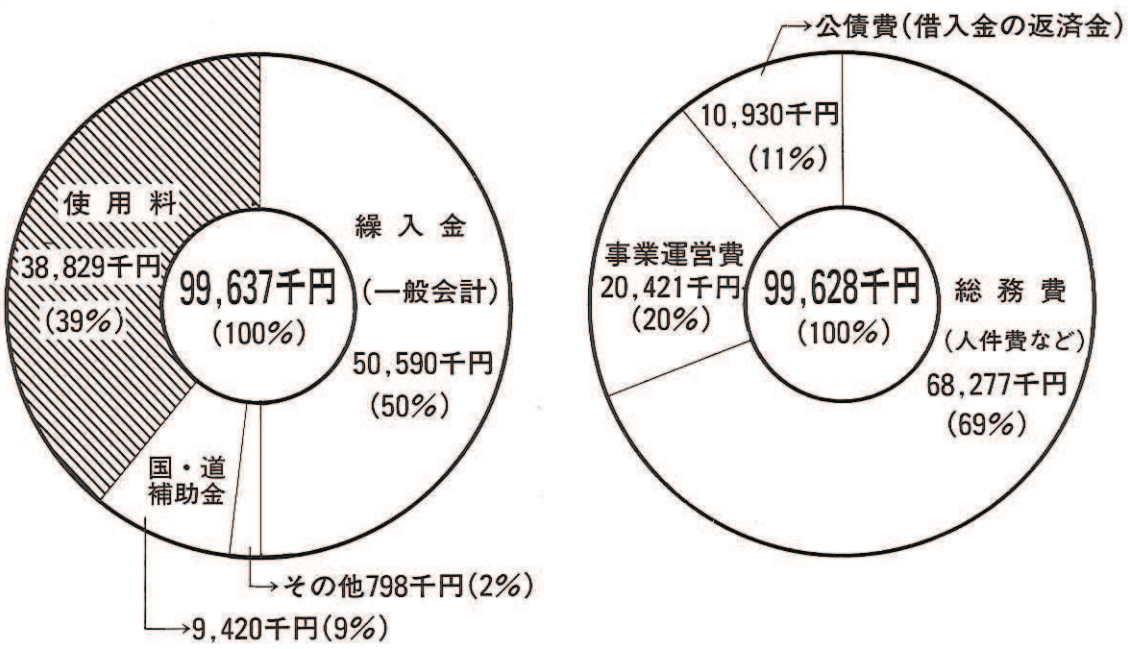
奥尻町にとっても例外ではないようです。

たしかに地区住民にとっては、町有バスより、自家用車の方が便利が良いに違いありません。

しかし、住民の通院、通学、買い物あるいは温泉の利用などの足として、毎日走る町有バスを皆さんの手で育てていくことが大切ではないでしょうか。

月に一度は自家用車でなく、町有バスを利用するという試みも必要なのかも知れません。

昭和63年度 バス事業収支状況



住民の大切な足となっている町有バス

12月は**国民健康保険税第７期**の納める月です

※　忘れずに12月31日までに納めましょう。

※　納税には、便利で確実な口座振替をおすすめします。

200人が出席して行われた記念式典

青苗小学校開校100周年 盛大に記念式典

青苗小学校（中川晃校長、児童165人）の開校100周年記念式典が、10月30日、同校体育館で開かれ、全校児童、ＰＴＡ会員、卒業生など町民約200人が、長く受け継いできた輝かしい歴史と伝統を祝いました。

青苗小学校は、明治22年に奥尻尋常小学校青苗分校として創立され、明治34年に青苗尋常小学校に改称し以来、昭和40年のピーク時には児童数も500人となり、現在までに4千3百36人の卒業生を送り出しています。

この日の式典に向けて、学校はじめ、ＰＴＡも協賛会（鍛治英勝会長）を組織し準備を進めてきました。

式典では、中川校長が「今後も、きたえる子、考える子など本校の教育目標に沿って子どもたちを育て、未来への担い手としたい」と式辞をのべたあと、鍛治協賛会長ら来賓からお祝いの言葉が贈られました。

このあと、協賛会、奥尻漁協から記念品が贈呈され、続いて、近藤良太児童会長が「これからも先輩たちからの歴史を守り、勉強やスポーツに頑張ります。」と、元気に喜びの言葉をのべました。

また、出席者全員が見守る中、お祝いのくす玉が開かれ、この日のために和田高明教諭、中川校長が作詞作曲した記念賛歌を児童全員で披露するなど、はなやかな雰囲気に包まれて式は終りました。

赤石地区を走る町有バス

年度別乗車人員の推移

59年度	205,772人
60年度	206,184人
61年度	205,829人
62年度	196,981人
63年度	204,407人

※通学者も含む

江差税務署から

記帳に基づく正しい申告を

商売などをしている方が、自分の所得を正確に計算するためには、毎日の取引をきちんと記帳し、保存しておくことが必要です。

また、そうすれば、経営内容も正確に把握でき、事業の発展に役立てることもできます。

◎青色申告で正しい記帳を

記帳に簡単なものから、各種の帳簿を備えた高度なものまでいろいろありますが、定められた簡易帳簿など一定水準以上の記帳をし、その基調に基づいて正しい申告をする場合には、所得の計算上有利な取扱いが受けられる青色申告の制度が設けられています。

現在では、商売などをしている方の半数以上が、この青色申告制度を利用しています。

◎白色申告者の記帳・記録保存制度

青色申告をしていない方で事業所得等がある方は、記帳や記録の保存などをしなければなりません。

一、記帳制度

事業所得等がある方で、次のいずれかに当てはまるときは、帳簿を備え付け、その年の業務に関する総収入金額や必要経費について記入する必要があります。

① その時（記帳を行わなければならないかどうかを判定する年をいいます。）の前年十二月三十一日現在において、前々年分の事業所得の金額が三〇〇万円を超えている場合

② その年の三月三十一日現在において、前年分の事業所得等の金額が三〇〇万円を超えている場合

二 記帳保存制度

事業所得等がある方で、一定の要件に当てはまるときは、その年の業務に関して作成し又は受領した帳簿や書類を整理して、五年間（記帳制度適用者が記帳制度に基づいて作成した帳簿については七年間）保存する必要があります。

▼住民票抄本（住所・生年月日等が確認できるもの、運転免許証・出稼手帳等でもよい）
※現住所と一致のもの
▼戸籍抄本（現在の氏名と離職票1又は2の氏名が違う場合）
▼払渡希望金融機関指定（変更）届又は委任状（金融機関の確認印を受けたもの）
▼写真1枚（最近のもので大きさ縦3センチ横2・5センチ位、運転免許証用等でもよい）

なお詳しくは観光交通課（バスセンター）商工観光係におたづね下さい。

奥尻町で巡回職業相談所が開設されます

江差公共職業安定所では、次のとおり巡回職業相談所を開設します。

失業されて雇用保険受給資格のある方は、ぜひ手続きをしましょう。

〔開 設 日〕
▼1回目 平成元年12月21日㈫
▼2回目 平成2年1月11日㈭

〔開設時間〕
▼午前9時から正午まで

〔開設場所〕
▼奥尻町公民館

〔手続きに必要なもの〕
▼㊍ 職業相談票（黒色は男子・緑色は女子）
▼離職票1と2（所持している離職票は全部）
▼印 鑑

看護婦を募集しています

奥尻町国保病院

当病院では、看護婦部門の職員が不足しており大変苦慮しております。

皆さんの家族又は、お知合いの方で看護婦（准看護婦を含む）の有資格の方がおりましたら、是非当町国保病院の勤務（パートでも可）をお勧め下さるようお願いいい致します。

又、看護婦・准看護婦を養成する学校又は養成所に在学し、又は入学しようとする方で、将来当病院又は青苗診療所に勤務する方に、月額5万円を貸与する奨学資金制度があります。

奨学金は無利子で、修学年限2年の養成施設卒業の資格取得者は、3年間、又3年の養成施設卒業の資格取得者は4年間当病院又は、青苗診療所に勤務することにより、貸付した契学金の返還が免除される制度です。

どうぞご利用下さい。

※ くわしくは、奥尻町国保病院庶務係にお問い合せ下さい。

国民年金保険料

11月分の納期限は12月31日です。

※忘れず地区の婦人会か役場又は役場青苗支所に納めましょう。

年末年始休業のお知らせ

○町 役 場……12月31日～1月5日
○町役場青苗支所…… 〃
○教育委員会…… 〃
○国保病院…… 〃
○青苗診療所…… 〃
○青苗歯科診療所…… 〃
○町営整備工場…… 〃
○バスセンター……12月31日～1月2日
○神威脇温泉保養所……1月1日
○町営浴場……1月1日～1月3日
○町民センター……12月31日～1月5日
○ごみ収集車……12月30日～1月3日
○し尿収集車…… 〃

冬休みの日程のお知らせ

○東風泊保育所……12月27日～1月20日
○奥尻幼稚園……12月27日～1月21日
○青苗幼稚園……12月26日～1月19日
○稲穂小学校……12月27日～1月20日
○宮津小学校……12月26日～1月19日
○奥尻小学校……12月27日～1月20日
○青苗小学校……12月26日～1月19日
○神威脇小学校……12月27日～1月20日
○奥尻中学校……12月27日～1月19日
○青苗中学校……12月26日～1月19日
○奥尻高等学校……12月26日～1月19日

38人・2団体の功績をたたえ
町政功労者表彰式

11月3日の「文化の日」、平成元年度の奥尻町町政功労者等表彰式が奥尻幼稚園で行われました。

この表彰は、奥尻町表彰条例に基づいて、功労、勤続、善行、技能の各分野に、永年にわたって町政の発展に寄与された方々に贈られるものです。

今年は38個人2団体が表彰されました。

表彰式では、町長の式辞のあと、功労者一人ひとりに表彰状と記念品が贈られ、受賞者を代表して野口正義さんからお礼の言葉がのべられました。

なお技能表彰は今年から新らしくもうけられました。

今年の受彰者は次のとおりです。

町長から表彰状を受ける受彰者

〔功労表彰〕

▼産　業

◎野口正義さん（80歳・青苗）

昭和33年から7年間農業協同組合長、又農業委員会委員を6年間務められ、その後造材事業にも従事され、町農林業振興発展に寄与されました。

▼文　化

◎板谷島風さん（74歳・奥尻）

昭和55年から俳句を通して奥尻島を広く紹介され、サークル活動の推進に努め、句集奥尻を発刊するなど島の文化の高揚に努められました。

▼自　治

◎末廣　茂さん（61歳・神威脇）

昭和40年以来20年間の永きにわたり神威脇地区町内会長を務められ、又昭和48年から16年間納税組会長を努められ、地区の奉仕者として活躍され町自治振興に寄与されました。

◎澤谷勝巳さん（60歳・野名前）

昭和38年奥尻村消防団班長を拝命以来26年の永きにわたり、持前の実直さを消防活動に発揮し、消防の責務を団員に説き、地区の予防活動推進に寄与されました。

◎高橋　豊さん（59歳・宮津）

昭和25年奥尻村消防団員を拝命以来職責を自覚し、有事の際の出動は優秀であり、予防・消防活動に力量を発輝し、39年の永きにわたり本町の防災活動の推進に寄与されました。

◎坂本昭一さん（57歳・青苗）

昭和26年奥尻村消防団員を拝命以来勤務成績は優秀であり、持前の勤勉さを消防活動に発揮し、消防の責務を団員に説き、38年の永きにわたり本町の防災活動の推進に寄与されました。

◎佐々木克己さん（53歳・神威脇）

昭和36年奥尻村消防団員を拝命以来勤務成績は優秀であり、消防活動に率先従事し、何事も研究熱心で信頼も高く、27年の永きにわたり本町の防災活動の推進に寄与されました。

◎加藤堅寿さん（53歳・奥尻）

昭和34年奥尻町職員を拝命以来30年以上の永きにわたり、その間教育委員会学校教育係長、町民課福祉労政係長、総務課庶務係長、教育委員会次長、町民課長、農林課長、企画振興課長を歴任し、本町行政の振興発展に貢献しました。

〔勤続表彰〕

◎藤谷　斉さん（56歳・青苗）

昭和39年4月1日より町職員として25年以上勤務しました。

◎中村経雄さん（52歳・奥尻）

昭和39年4月1日より町職員として25年以上勤務しました。

◎輸島利幸さん（44歳・東風泊）

昭和39年6月1日より町職員として25年以上勤務しました。

◎酒谷周司さん（41歳・奥尻）

昭和39年7月1日より町職員として25年以上勤務しました。

◎山下育三さん（47歳・奥尻）

昭和40年4月1日より町職員として25年以上勤務しました。

◎笹森　久さん（44歳・奥尻）

昭和40年4月1日より町職員として25年以上勤務しました。

◎田口博章さん（41歳・奥尻）

昭和40年4月1日より町職員として25年以上勤務しました。

代表取締役社長　蔦井孝彦

奥尻町地域経済活性化資金として金百万円を高額寄付されました。

◎坂本義行（58歳・青苗）

昭和30年1月、日本水難救済会青苗救難所救助員を拝命以来、35年以上の永きにわたり、組長を歴任その重要性を認識され、数々の水難救助活動に献身され、多大の功績を残され地域住民から高い賞賛を受けております。

◎新保　司さん（55歳・青苗）

昭和31年4月、日本水難救済会青苗救難所救助員を拝命以来、34年以上の永きにわたり、組長を歴任その重要性を認識され、数々の水難救助活動に献身し、多大の功績を残され地域住民から高い賞賛を受けております。

◎鳴海勝三さん（60歳・青苗）

昭和30年1月、日本水難救済会青苗救難所救助員を拝命以来、35年の永きにわたり、副組長、組長、看守長を歴任、その重要性を認識され、数々の水難救助活動に献身し、多大の功績を残され地域住民から高い賞賛を受けております。

◎三浦幸一さん（55歳・青苗）

昭和30年1月、日本水難救済会青苗救難所救助員を拝命以来、35年以上の永きにわたり、副組長、組長を歴任、その重要性を認識され、数々の水難救助活動に献身し、多大の功績を残され地域住民から高い賞賛を受けております。

◎沖田二次郎さん（56歳・神威脇）

昭和32年1月、日本水難救済会青苗救難所救助員を拝命以来、33年以上の永きにわたり、副救助員長を歴任、その重要性を認識され、数々の水難救助活動に献身し、多大の功績を残され地域住民から高い賞賛を受けております。

◎近藤　譲さん（57歳・青苗）

昭和30年1月、日本水難救済会青苗救難所救助員を拝命以来、35年以上の永きにわたり、救助員として、その重要性を認識され、数々の水難救助活動に献身し、多大の功績を残され地域住民から高い賞賛を受けております。

◎村井昌人さん（55歳・松江）

昭和33年1月、日本水難救済会青苗救難助救助員を拝命以来、32年以上の永きにわたり、救助員として、その重要性を認識され、数々の水難救助活動に献身し、多大の功績を残され地域住民から高い賞賛を受けております。

◎中川武雄さん（58歳・神威脇）

昭和32年1月、日本水難救済会青苗救難所救助員を拝命以来、33年以上の永きにわたり、救助員として、その重要性を認識され、数々の水難救助活動に献身し、多大の功績を残され地域住民から高い賞賛を受けております。

◎奥尻農協婦人部

部長　海老原京子

昭和59年から各公園及び道端に花いっぱい運動を繰り広げ、一般町民に心のやすらぎを与えてくれました。

〔技能表彰〕

◎住吉正勝さん（83歳・青苗）
◎松川武夫さん（83歳・青苗）
◎佐々木新太郎さん（82歳・松江）
◎杉村喜一さん（82歳・谷地）
◎関口義人さん（82歳・青苗）
◎田口市太郎さん（81歳・松江）
◎鎌田三郎さん（81歳・松江）

〔善行表彰〕

◎東日本フェリー㈱

平成元年度奥尻町町政功労者等表彰式典

受彰された方々

冬の交通安全運動（飲酒運転の防止）

奥尻町から悲惨な交通事故をなくしましょう。

重点目標

❶ スリップなどによる交通事故の防止。
❷ 安全速度の励行。

◎**二森政治**さん（80歳・青苗）
◎**吉崎芳永**さん（80歳・青苗）
大正、昭和、平成の永きにわたり、漁業を営み特に磯根漁業においては今日もなお技能優秀で他の模範となるものであり名人の称号が贈られました。
◎**横田要**さん（81歳・勘太浜）
大正、昭和、平成の永きにわたり、磯舟建造を業として今日までに至っていることは他の模範となるものであり名人の称号が贈られました。
◎**鎌田由雄**さん（78歳・松江）
◎**菊地兼定**さん（78歳・青苗）
◎**田口佐吉**さん（78歳・藻内）
◎**高森榮三郎**さん（77歳・青苗）
◎**西本元八**さん（77歳・青苗）
大正、昭和、平成の永きにわたり、漁業を営み特に磯根漁業においては今日もなお技能優秀で他の模範となるものであり達人の称号が贈られました。

奥尻高校に「吹奏楽器」を贈呈

奥尻町ふるさと創生事業

奥尻町では、ふるさと創生事業の使い途について、皆さんから寄せられたアイデアをもとに、「奥尻町ふるさとづくり懇話会」において協議し、その中から8件の事業について町長に答申されました。（内容は広報おくしり7月号で掲載）

町では、答申された内容を基に最終案（事業）を絞り、町議会で審議した後、ふるさと創生事業として実施していますが、奥尻高校への吹奏楽器の贈呈も、この事業の一環として行なわれたものです。

奥尻高校では、学校創立以来現在まで、予算不足などで、吹奏楽部の創設が遅れていました。

しかし、町内の中学校には、吹奏楽部があり、活躍していることなどから高校にもぜひ吹奏楽部との声が高まり、この度、実を結んだものです。

贈呈された楽器は、トランペットなど40人編成に相当する種類で、金額は6百17万8千円となっています。

楽器贈呈式は、10月30日に奥尻高校において関係者が出席して行われ、奥尻町長から奥尻高等学校文化体育後援会々長・木村清彬さんに目録が手渡されました。

奥尻高校では、来年4月までには創部にこぎつけたいとはりきっており、生徒たちは、大きなプレゼントに夢をふくらませていました。

高校で行われた贈呈式

江差警察署から

―犯罪や事故を防いで 明るい歳末―

一年中で一番忙しく、あわただしい師走を迎えました。

例年、この時期になりますと多額の現金を狙った犯罪や、凶悪な事件が数多く発生します。

明るい正月を迎えるため、つぎのことに気をつけて下さい。

＊ 金融機関からの多額の現金引き出しは、複数の人で車両を使用し、ひったくり等にあわないようにしましょう。

＊ 多額の現金は自宅に置かないようにし、自宅も車両も防犯に心掛け、必ずカギかけの励行をしましょう。

○急いでる 心にともせ 赤信号

○とび出しは めいわくいっぱい 事故いっぱい

本格的な冬とともに降雪や路面凍結による思わぬ事故が発生します。

常に心にゆとりを保ち運転中は、急発進 急ブレーキ 急加速 急ハンドル等「急」のつく動作はやめましょう。

また、夜間道路を歩く時は、明るい服装を選び車両の直前、直後の横断は、ぜったいやめましょう。

産婦人科・眼科診療のおしらせ

奥尻町国保病院では、産婦人科診療、眼科診療を次の日程で行いますので希望される方は受診されるようお知らせします。

●産婦人科診療
12月18日午後1時30分から12月20日午前9時30分まで

●眼科診療
12月21日午後1時30分から12月22日午後2時30分まで

◎ご協力ください 工業統計調査

通商産業省では、毎年12月31日現在で工業統計調査を実施しています。

調査の対象となる製造業を営む事業所には、年末年始にかけて調査員がお伺いします。

調査の内容は、統計以外の目的に使われることは決してありませんので、安心して調査にご協力くださるようお願いします。

雇用保険の不正受給はやめましょう

失業給付は、失業した労働者の生活の安定を図り、再就職を促進することを目的としています。

ところが働いている事実を隠したまま支給を受けるなど不正な受給がまだあとをたちません。

失業給付は、労働者及び使用者の方々から納めていただいた保険料と国民の皆さんが納められた貴重な税金によってまかなわれています。

そのため、一部の受給者によって不正な受給が行われることは、制度の健全な運営を阻害することにもなりかねません。

行政機関としても、不正受給に対しては従来から厳しい措置をとっていますが、なおいっそうの不正受給防止の徹底を期すこととしています。

つきましては、その趣旨を御理解いただき、不正受給防止に御協力をお願い申し上げます。

●不正受給とは

○就職や就労（パート、アルバイト、日雇、試用期間なども含みます。）した場合に、そのことを失業認定申告書で申告しなかったり、または採用になった日付あるいは働いた日付を偽って申告する。

○内職や手伝いをした事実及び収入を隠したり、偽った申告をする。

○自分で営業を始めた場合に、その事実を隠したり、偽った申告をする。

○労災保険の休業補償給付や健康保険の傷病手当金などの支給を受けていることを届出ない。

○就職していないのに就職したと偽ったり、就職した日を偽って再就職手当の支給申請をする。

○受給資格者証を他人に貸したり譲ったりして失業の認定を他人に受けさせる。

○偽りの記載をした離職票を提出する。

○医師の証明書や採用（内定）証明書などの各種の証明書または再就職手当支給申請書など、各種支給申請書の証明欄を偽造または改ざんして提出する。

などの不正な手段により失業給付を受けようとすることです。

お気軽にご利用を

声の広報「ほっかいどう」

目の不自由な方のため、道政についてのお知らせをカセットテープに録音した声の広報**「ほっかいどう」**が発行されていますので、お気軽にご利用ください。

利用されたい方は、役場企画振興課広報統計係へご連絡ください。

年末年始の火災予防について

年末・年始は、火の取り扱いに特に注意しなければならない時期です。

○寝る前、外出前には火の元を確かめましょう。
○燃焼器具は定期的に点検しましょう。

町民のひろば

公民館で 子ども絵画展

奥尻町公民館で、10月27日から29日の3日間、子ども絵画展が開らかれました。

今年で11回目を迎えたこの絵画展には、小学生107点、中学生22点、計129点の作品が寄せられ、厳正な審査の結果、金賞6人と入賞30人が別表のとおり決まりました。

第11回子ども絵画展

子ども絵画展入賞者

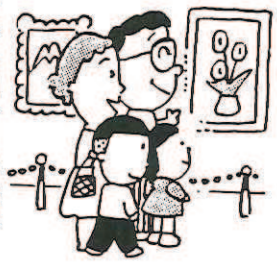
小学校の部

賞	氏名	学年	学校名
金賞	山下信幸	2年	宮津小学校
〃	藤谷早苗	4年	奥尻小学校
〃	禿智如	5年	宮津小学校
〃	秋山よう子	6年	奥尻小学校
入賞	土谷利光	1年	宮津小学校
〃	桜花和馬	〃	〃
〃	飛山歩美	〃	青苗小学校
〃	織田未来	〃	奥尻小学校
〃	禿千尋	2年	宮津小学校
〃	木下透	〃	神威脇小学校
〃	飯田桂	〃	青苗小学校
〃	熊木悠	3年	神威脇小学校
〃	三浦浩次	〃	青苗小学校
〃	菊地範充	〃	〃
〃	長谷川秀和	〃	〃
〃	菊地啓恵	4年	〃
〃	高田マイ	〃	〃
〃	枝松和恵	〃	奥尻小学校
〃	三上敏明	5年	宮津小学校
〃	小寺圭子	〃	青苗小学校
〃	内田美和子	〃	奥尻小学校
〃	蛎崎絢子	6年	神威脇小学校
〃	広川亮介	〃	〃
〃	大須田貴裕	〃	稲穂小学校
〃	楠引玲子	〃	青苗小学校

中学校の部

賞	氏名	学年	学校名
金賞	坂田誠一	1年	奥尻中学校
〃	福士美和子	2年	〃
入賞	西本明史	1年	青苗中学校
〃	笹木珠美	2年	奥尻中学校
〃	須田佐知子	〃	〃
〃	工藤陽子	〃	〃
〃	西本香織	〃	青苗中学校
〃	菅原咲子	〃	〃
〃	中本亮一	3年	奥尻中学校
〃	横野朋子	〃	〃
〃	末広匡里子	〃	青苗中学校

第一回町長杯ミニバレーボール大会



第1回町長杯ミニバレーボール大会が、11月11日に奥尻町民センターにおいて開催されました。

今大会の参加チームは25チームで、予選各4ブロック激戦の中から、それぞれ1チームが勝ち上がり決勝トーナメントが行なわれました。

町長杯ミニバレーボール大会

決勝戦では、宮津Aチームが谷地Aチームに快勝し見事優勝を果たしました。

●上位入賞は次のとおりです。

▼優勝　宮津Aチーム（禿義廣さん輪島利正さん三上敦子さる井田道子さん）
▼準優勝　谷地Aチーム
▼3位　青年会Aチーム
▼敢闘賞　宮津Cチーム
▼特別賞　青苗Bチーム
〃　〃　奥尻Bチーム
〃　〃　フットラーズBチーム
〃　〃　谷地Bチーム

お元気ですか 保健婦です

胃・十二指腸潰瘍〈最大の敵はストレス〉

胃・十二指腸は、強力な消化液である胃液によって胃壁や十二指腸壁が自己消化を起こしてしまう病気で、このため消化性潰瘍ともいわれています。

この主な原因はストレスです。精神的なストレスが脳の自律神経などに作用して、粘膜への血流を阻害し、胃液の分泌を促します。胃壁を守る粘液の分泌が減り、攻める胃液は大量に分泌するのですから胃の粘膜に穴があくのもしかたがないのです。

特に、きまじめで張り切り屋、責任感の強い人、気が弱くてすぐに反省するようなタイプがかかりやすいようです。

〈胃・十二指腸潰瘍の自覚症状〉

とくに空腹時、明けがたにズキズキ、シクシク痛み食べるとやわらぐ場合が多い。反対に、空腹感に悩まされ、食べたくて仕方がない場合もある、黒っぽい便が続くようになる。

又、高齢者は痛みなどに気がつかない場合もあります。

早期発見、早期治療のためにも年1回はガン検診を受けましょう。

〈胃をいたわる生活を〉

食生活では、胃腸に負担をかけないように、

- 食べ物はよくかんで味わう
- 熱すぎるものは飲み込まない
- 飲みすぎ食べすぎに注意
- 刺激物は控えめに
- 食事は規則的に

● ストレス解消は〝ゆとり〟をもって!!

（保健婦・佐藤こずえ）

最低賃金を守ろう!

道内のすべての事業所で働く人に適用される北海道の最底賃金が今年の10月から改正され、次のようになっておりますので、事業主の方は守りましょう。

◎地域包括最低賃金

・日額　3千7百73円
・時間額　4百72円

◎産業別最低賃金

〔食料品・飲料・飼料製造業〕
・日額　4千91円
・時間額　5百12円

〔木材・木製品・家具・装備品製造業〕
・日額　4千百75円
・時間額　5百22円

〔窯業・土石製品製造業〕
・日額　4千百74円
・時間額　5百22円

〔機械・金属製品等製造業及び自動車整備業〕
・日額　4千2百40円
・時間額　5百30円

〔卸売業〕
・日額　3千9百85円
・時間額　4百99円

わが家のアイドル

わんちゃんも笑っちゃうよ?

増田敬さんの長男（字青苗）

進太郎（しんたろう）くん（1歳4ヶ月）

全町女子ミニバレーボール大会

奥尻愛好会Aチーム優勝

第7回町内女子ミニバレーボール大会が11月25日(土)に奥尻町民センターにおいて開催されました。

この大会は、奥尻町教育委員会の主催によるもので参加21チーム、180名が参加して行なわれ、女性だけの大会とあって各コートでは熱戦が展開されました。

結果は次のとおりです。

▼優　勝　奥尻愛好会Aチーム（藤谷洋子さん　田中昭子さん　高橋真由美さん　佐々木典子さん　白田タケ子さん）
▼準優勝　青　苗　Aチーム
▼3　位　稲　穂　Aチーム
▼最優秀選手賞
　田中　昭子さん（奥A）
▼敢　闘　賞
　駒谷　厚子さん（青A）

「し尿のくみ取り」申込は12月20日までに!!

今年のし尿のくみ取り申し込みは、12月20日までで締め切らせていただきます。

締切日以後の申し込みについては、1月4日以降になりますので早めにお申し込みください。

又、申し込みの際、留守番電話が応対することがあります。

電話の指示に従い正確に申し込まれるようお願いします。

●年末・年始のし尿・ごみの収集は、12月30日から1月3日まで休みます。

団体・個人を表彰

青苗スポーツ愛好会

青苗スポーツ愛好会（大谷佳也会長）では、平成元年の優秀団体と個人を次のとおり表彰しましたのでご紹介します。

【最優秀団体】
◎稲穂ミニバレーボール愛好会（鈴木浩造代表、会員20名）
【優秀団体】
◎宮津ミニバレーボール愛好会（輪島鉄雄代表、会員24名）
◎マリオ（渡部保光代表、ソフトボールチーム）
【最優秀選手】
◎下倉真知子さん（字青苗）
【優秀選手】
◎高橋切子さん（字青苗）
◎坪谷琴子さん（字青苗）
◎蛎崎絢子さん（字湯ノ浜）
◎明上　光さん（字青苗）

幸せづくりに　あなたの心を

歳末たすけあい募金

赤い羽根で親しまれている共同募金運動が、10月1日にスタートし、12月末日まで続けられます。

なかでも12月は、この共同募金運動を締めくくる「歳末たすけあい募金」活動が、より活発に行われる時期です。

こうした運動を通して集められたお金は、民間の社会福祉団体や施設が行う福祉事業の資金となります。

●募金運動を支える
たすけあい精神

共同募金運動は、昭和二十二年に「たすけあい」の国民運動として始まりましたが、なぜ、たすけあいが必要だったのでしょうか。

敗戦によって民間の福祉団体の事業資金が不足し、生活に困っている人たちを十分にたすけていくことができなくなったためです。

そこで、国民相互のたすけあいが必要だったのです。

このたすけあい精神は、今も共同募金運動を支えていく大きな柱となっています。

●社会福祉活動の
充実を

高齢化社会の到来は、社会福祉の一層の充実が求められる一つの原因です。

また、身体障害者の皆さんが持つ能力を社会に生かしていくためには、地域の福祉活動が必要です。

こうした社会福祉活動をより充実させていくうえで、この共同募金運動は、民間の社会福祉団体の財源を確保する担い手としての役割を果たしています。

●募金は何に
使われる?

さまざまな方法で集められた寄付金は、現在、在宅の寝たきりや一人暮しのお年寄り、心身に障害のある人たちへの福祉サービスなどの地域福祉、施設援護に役立っています。

余暇時代にむけて 豊かさとゆとりの創造

仕事に追われ、多忙この上ない生活も送ってきた人も、定年を境として仕事から解放され、余暇ばかりの生活を余儀なくされます。

もちろん、年金だけで生活することが難しい人も、少なくありません。

新しい仕事に就く方もおられることでしょう。

しかし、高齢期を迎えて、仕事で生きがいを見いだしていくことも、なかなか困難な面があるようです。

やはり、余暇をどう過ごすかが、大事になってきます。

仕事以外のライフ・ワークを

余暇を若い時から重視してきた人は、待ってましたとばかり定年後、趣味や好きなことに打ち込むことができます。

なかには、ライフワーク（一生の仕事）にまで高めようと頑張る人も出てきます。

しかし、そう恵まれた人ばかりではありません。

生活環境の変化に戸惑い、何をして生きていったらいいのか分からないという人もいます。

高齢期は、それまでの人生のツケがいろいろな形で回ってくるものですが、その例外ではありません。

若い時代から、コツコツと余暇の習熟に励んできた人は、高齢期になっても、余暇を生活の中に取り入れて、毎日をいきいきと過ごせます。

初心に戻って新しい世界へ

若い時から、家庭や地域を顧みず、仕事一筋に生きてきた〝仕事人間〟の人たちほど、定年を迎えて、ほとほと困ってしまうことが多いようです。

生きがいのある日々を送るために、三つのアドバイスをしたいと思います。

一つは、若いころの自分に帰ることです。

どなたも、かつて夢中になって何かに打ち込んだ時期があったはずです。

そういう自分をもう一度取り戻すのです。

二つは、開き直って初心に戻り、六十、七十歳の手習いを実行することです。

そのためには自分の興味と関心のある対象について、これはと思う先生を探し、一から始めるのです。

三つは、自宅の近くで趣味などのサークルを見つけ、入会することです。

〝いまさら〟などというこだわりは捨て、勇気を出して新しい世界の扉を開けましょう。

高齢時代 手習いのすすめ

お宅の受信機（防災行政無線）は異状ありませんか？

◎受信機に入っている乾電池が１年以上経過していませんか？
◎乾電池は、停電時の非常時用として大変だいじなものです。
◎乾電池から液もれなどしていないか一度調べて下さい。故障の原因になります。
◎１年以上経過した乾電池は交換するようお願いします。

年金コーナー

遺族基礎年金

国民年金に加入している方や老齢基礎年金を受けられる資格期間のある方が死亡したとき、その方によって生計を維持されていた18歳未満の子（障害のある子の場合20歳未満）のある妻または子に支給されます。

支給要件

①死亡した方に老齢基礎年金を受けられる資格期間（原則として25年）があること。

②保険料を納めた期間（保険料の免除期間も含む）が加入期間の3分の2以上あること。

※昭和71年4月1日前に死亡した場合、死亡前1年間に保険料の納め忘れがないときは受給できます。

支給期間

死亡月の翌月から子が18歳（障害のある子は20歳）になるまでの期間。

年金額

●年金額（昭和63年度価格）　（）内は月額

子供の数	子供のいる妻に支給される年金額	子供のみの場合に支給される年金額
1人	815,300円(67,942円)	627,200円(52,267円)
2人	1,003,400円(83,617円)	815,300円(67,942円)
3人	1,066,100円(88,842円)	878,000円(73,167円)

国立小樽海員学校生徒募集

★募集人員　約30名
★修業年限　3年（全寮制）
★受験資格　昭和46年4月2日～昭和50年4月1日に生まれた者で、中学卒業以上（平成2年3月卒業見込みを含む）
★願書受付　平成2年1月9日～2月8日
★試験日　平成2年2月11日(日)
★試験科目　国語、数学、英語
★試験場所　小樽市、札幌市のほか道内各地
★特典
高卒同等資格が得られ大学、専門学校等が受験できるほか、卒業後一定期間の乗船経験があれば、海技従事者国家試験（四級海技士）受験の際筆記試験が免除されるなどの特典があります。
★奨学金等
奨学金制度も完備しており、少ない学資金で就学できます。
★詳細については小樽海員学校教務課（TEL　0134－54－2122）へお問い合せください。

奥尻町「老人福祉寮」入居者を募集!!

町では、ただいま6室あいている老人福祉寮の入居者を募集しております。

入居を希望される方や詳しい内容のお問合せ等については、役場住民福祉課福祉係にご連絡して下さい。

屋根からの氷雪落下防止

冬になりますと、例年のように落雪などによる人身事故が発生しています。

これらの事故を防ぐために道では、北海道建築基準法施行条例で落雪事故などを防止するための規定を設けています。

建築物の所有者または管理者の方々は、次のことを励行して災害の未然防止に心がけましょう。

一、氷雪の落下による危害の防止

建物が道路または隣地境界線に近接していて、氷雪の落下による危害を生ずるおそれがある場合には、屋根に雪止めを設置することになっています。

屋根の雪止めには、梁式と金具によるものがありますが、取り付け要領などをよく読んで取り付けて下さい。

また、取り付け後も常に点検整備に心がけて下さい。

さらに雪おろしも定期的に行い、特に、暖気のときの軒先からの氷雪落下には、十分注意して下さい。

二、落雪防止柵による防雪

落雪を防止する防止柵には、地上から建てるものと軒に取り付けるものがありますが、これらについても十分専門家の意見を聞き設置してください。

屋根の雪止め、落雪防止柵の構造などに関する相談は、北海道寒地住宅都市研究所（札幌市西区二十四軒四条一丁目TEL　〇一一―六二一―四二一一）で受けています。

歳時記

スキー愛好家には、雪だよりが気になる季節になりました。

というより、すでにシーズン入りしているスキー場もあります。

人工降雪機の普及で、スキー場のオープンが年々早くなっています。

最近のスキー熱の盛り上がりには、実はこうしたことが背景にあるのです。

学生の街、東京・神田は、かつて本屋が軒をつらねていましたが、最近はスキーショップが目立ちます。

ここでは夏でも、スキーを買って帰る若者をたくさん見かけます。

冬に備えての準備ということでしょうが、なかには、南半球のニュージーランドなどにスキーに行く人たちもいて、そうしたグループ・ツアーもあります。

「ぜいたくになったものだ、この者ときたら、ものごろの若スキーを自分で担ぐともしないんだからとオールド・スキーヤーは嘆きます。

スキーを宅配便で送って、滑り終わると、すぐ来週行くスキー場に送ってしまうというのが流行しているのです。

もっとも、最近は若者ばかりでなく、実年のスキー愛好家も増えまた障害を持っている人たちの間にも、スキーを楽しむ傾向が広まりつつあります。

十二月九日は「障害者の日」です。

国際連合が、一九七五年の十二月九日に「障害者の権利宣言」を採択した日を記念して、障害者問題についての国民の理解と認識をさらに深め、障害者福祉の増進を図るために「障害者の日」が設けられました。

障害を持つ人と持たない人とのふれ合いや交流をもっと深めたいものです。

よろこびかなしみ

お誕生

おなまえ	保護者	住所
若山　卓哉	孝仁	青苗

ご結婚

松前　ことみ	幸悦	赤石
竹内　真由香	和良	奥尻
夫の名　妻の名		住所
鎌田　照見	斉藤　優子	松江
海老原　孝	小河　美紀	米岡

ご冥福をお祈りします。

おなまえ	年齢	住所
若山　茂	46歳	青苗

町の人口・世帯

住民基本台帳10月31日現在

男	2,459人	（＋1）
女	2,377人	（＋1）
計	4,836人	（＋2）
	1,657世帯	（－1）

（　）内は前月末比較増減

編集後記

いよいよ12月、今年も残すところ数日間となりました。

この1年をふり返えりみなさんはどんな年であったでしょうか。

楽しかったこと、苦しかったこと、思い出深いことなど、いろいろな出来事があったと思います。

喜怒哀楽を繰り返すことが人生の歴史かもしれません。

いずれにしましても今年より来年が良い年であるよう皆さんと共に希望するものです。

広報「おくしり」を今年も毎月お届けし、皆さんにご愛読いただき、ありがとうございました。

来年はさらに、よい紙面づくりに努力しますので、よろしくお願いいたします。

写真や、ご意見、記事、話題、などお寄せ下さい。

係では、皆さんの町政に対するご意見や、要望、話題、写真などをおまちしております。又「わが家のアイドル」の写真もお寄せ下さい。

気軽に電話や連絡をして下さい。

それでは、皆さん、どうぞよいお年をお迎え下さい。

（広報統計係）